

3月定例会 一般質問通告一覧表

1	大原校区公民館の建築について	徳富 正夫
2	1 イオン開業に向けた課題について 危機管理の取り組みについて	入江 和隆
1	教育行政について	佐藤 尚武
2	1 高齢者虐待とその対応について 楽しい学校づくりについて	成富 一典
1	行政運営について	井上 勝彦
2	1 児童虐待防止 介護保険	田中 雅光
2	1 認知症サポーター養成について 学力調査について	新原 善信
1	小郡地域運動広場の改修について	佐々木 益雄
1	子育て支援について	田代 和誠
2	1 生活保護について 国民健康保険について	竹腰 昭
2	1 農業振興について 教育行政について	山田 忠
1	労働者に対する施策について	廣瀬 勝栄

個人質問

いつできる

大原校区公民館



徳富正夫議員
(清和会)

各校区公民館が建設オープンする中、唯一校区公民館が無い大原校区の住民の皆さんは大変不自由されており、これまで校区公民館建設の要望が幾度も繰り返されていますが、①地域住民の長年の悲願である大原校区公民館の建築について。②公民館建設に際し、「防衛施設周辺民生安定施設整備事業」としての補助金要望申請についてお尋ねします。

市長―①大原区長会から立地場所については、大原小学校の敷地内という一定の方向性を出していただいていますので、今後はこれに伴う具体的課題について検討協議を行い、なるべく早期に建設に着手してまいりたいと考えています。なお、公民館建設までには数年間要しますので、平成25年度予算で暫定的です

が、大原小学校内の空教室を大原校区公民館準備室として区長会等の地元の会議や公民館建設の検討の場として活用いただけるよう改修します。総務部長―②補助が受けられるよう最大限の努力をしたいと思います。

イオンできて冠水対策 ・渋滞は大丈夫？



入江和隆議員

①建設場所は宝満川増水時の遊水地となっておりますが、その機能確保について。②交通渋滞等が予想される地域生活道路の安全対策について。③コミュニティバスのルート変更や増便について。④イオン内に行政サービスセンター並びに、観光協会を設置することについてお尋ねします。

市長―①敷地内に調整池と遊水地を設け、一定の遊水機能を確保する設計です。②周辺は狭小な道路しかなく、イオン開業に向けた交通安全対策を諮っていききたいと考えています。③コミュニティバス利

用者増のチャンスと考え、ルート見直しの準備を行っています。④情報発信スペースの確保等前向きに検討します。環境経済部長―①現在の機能よりも110%の機能を持つて設計されています。④現在の観光協会の事業規模等を考えると、ブースを出すのは難しいと考えますが推移を見ながら検討します。



▲イオン建設予定地造成中(大保)

柔道・土曜授業で 教育はどうなる



佐藤尚武議員
(維新の会)

①平成24年4月から中学校の教科書が改訂されました

が、その選定について。②その中で領土問題はどのように教えていますか。③中学校で柔道を必修とされましたが、その成果について。④土曜授業について。⑤挨拶、約束を守る等人間性を高める道徳教育をどのようにされているのかお尋ねします。

教育長―①文科省の検定を通じた教科書の中から各中学校の意見を集約し、選定部会で調査研究を行い選定しました。②北方領土、竹島は我が国固有の領土であること等、我が国の領土、領域について理解を深めています。③人の痛みが分かり、相手を思いやることに繋がっています。④平成25年度から市内小中学校で年6回をめどに実施することにしており、公開授業等による保護者や地域の皆さんとの連携の深まりや学力補充等の時間が取れると考えています。⑤正義感や生命を大切にすることをボランティアや自然体験等で養うとともに「大人が変われば子どもも変わる」と社会全体で高めていきたいと考えています。

本当に高齢者虐待か 市の対応に疑問



成富一典議員
(清和会)

高齢者虐待の実際とその対応についてはどのような手続きが行われたのか。また、法律や条例に則り行われたのかお尋ねします。

市長―個々の案件は、個人情報に関わるので、答弁は控えさせていただきますが、一般的に高齢者虐待については、相談、通報、届け出を受けることから始まり、その後、関係機関等からの情報収集、事実確認を行い、介護保険課と社会福祉士、保健師、主任ケアマネージャー等の専門職を有する地域包括支援センターの職員からなるコア会議の中で判断しています。平成23年度は、28件の相談通知を受理し、23件の事実確認を行い、その結果、虐待を受けた、または受けたと思われる事例が10件ありました。対応については、厚生労働省老健局から出された「市町村・都道府県における高齢者虐待への対応

どうする学校給食・市庁舎建替・放置自転車



井上勝彦議員
(清和会)

と擁護者支援について」と社団法人日本社会福祉士会出版の「市町村地域包括支援センター都道府県のための擁護者による高齢者虐待対応の手引き」に沿って行っています。

行政課題に対しての取り組みがなかなか進まず、非常に閉塞感を感じますが、①学校給食、食育の推進や施設の老朽化の問題について。②建設から50年が経過した市役所庁舎の耐震問題について。③小郡駅前の放置自転車対策について、それぞれの課題に対する取り組みをお尋ねします。

市長―①教育的視点を踏まえ、施設のあり方や学校給食に対する保護者の意識、財政状況等を勘案しながら検討してきました。②本年度、庁舎の耐震診断を実施しており、コストや耐用年数等を総合的に判断した結果、当面は補強工事を実施し、現庁舎を当分

の間、使用したいと考えています。③対策検討会議を設置して協議を行っていますが、今のところ明確な方向性を示すまで至っていません。行政課題に対し、スピード感を持ってもつと早く実行できるように、さらに取り組んでいきたいと思っています。



▲小郡市役所

子どもを虐待から守れ



田中雅光議員
(公明党)

虐待防止法が制定されて以降、市民周知が進んだこともあり、児童虐待件数は増大しています。今年度、警察が摘発した児童虐待関係の事件は

472件と、過去最高を記録しました。虐待を減らすためには、細かな情報収集と早期発見ができる体制の構築が必要で、①児童虐待防止に対応する人員の確保について。②学校と主任児童委員・民生児童委員との連携について今後の方向性をお尋ねします。

市長―①児童虐待件数が増えているため、今年度からは恒久的に人員を増やし、新たな訪問事業等を加える等、取り組みを広げていますが、こうした取り組みが現実には追いついていない実態が見えたときは、人員の状況も検討しなければならぬと思っています。**教育部長**―②主任児童委員、民生児童委員の方が、学校に気軽に入っていきけるような環境や情報交換ができる機会をつくっていききたいと思っています。



点数至上主義の学力調査になつていないか



新原善信議員
(市民クラブ)

県教委は学力調査の順位を上げるため、過去問題の特訓を推奨していると報道されましたが、①学力調査の実施目的について。②調査の結果、家庭、経済状況等との関連はどうであるのかお尋ねします。

教育長—①児童・生徒の学力や学習状況を把握分析し、教育施策の改善を図ること、教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることなどです。②文科省は保護者の年収が高いというデータを公表しており、学習塾などの教育支出が多い家庭ほど正答率が高いことも判明しています。また、研究班は幼児期から学習になじみやすい家庭環境をつくっていくことが重要だと指摘しています。

このことから児童・生徒の学力を高めるために学習指導の改善はもちろん、学力を支える基本的な生活習慣や学習習

慣の確立、読書活動の推進、児童・生徒の人間関係づくりの取り組みなど裾野の広い学力量向上に努めています。

低く危険な防球ネット 小郡地域運動広場



佐々木益雄議員
(清和会)

利用度の高い小郡地域運動広場は、下町・西福童16号線の整備に伴い、交通量の増加が見込まれ、利用している野球関係者は、ネットを越えたボールによる事故等を心配しています。①今後の道路整備状況について。②危険性を回避するための対応策について。③事故・けが等の責任問題についてお尋ねします。

市長—①県道鳥栖・朝倉線から小郡中学校南までは平成19年3月末に開通しており、現在、八重洲団地のメイン道路までの約560mを平成25年度中の供用開始に向けて進めています。今後、国道500号線までの約370mについては平成27年度完成を目標に事業を進めていきます。

副市長—②利用状況を踏まえた上で、防球ネットの問題等については、どのような形が一番いいのか利用団体と協議をして早急に対応したいと思っています。③行政として管理責任があることは把握していません。



▲小郡地域運動広場

子育て支援 さらに充実を



田代和誠議員
(市民クラブ)

①後期次世代育成支援地域行動計画は中間期を迎え、子育て支援課が創設されて1年が経ちますが、検証と今後について。②どの保育所も保育士の確保に苦慮しています。が、保育士の掘り起こしについて。③近隣市との賃金格差について。④保育士の心のケアについてお尋ね致します。



▲つどいの広場 ぽかぽか

市長—①来年度以降、計画の評価、検証を行います。来年度以降の事業としてファミリーサポートセンターを検討しています。また、平成27年4月の子ども・子育て新システム本格施行を目指し、子ども子育て会議の立ち上げやニーズ調査等を行い、支援事業計画を策定します。また、より一層子育て支援施策を充実させるため、子育て支援課が中心となって必要な部署、施策へ繋ぐことが重要だと考えています。

保健福祉部長—②県のコーデイナー制度を活用して保育士確保に繋がりたいと思っています。③来年度は賃金をアップします。④県のメンタルヘルス研修等への積極的な参加を促しています。

国民健康保険財政 もつと国が支出すべき



竹腰 昭議員
(共産党)

国保加入者の多くは、自営業や年金を生活の基盤としています。そのため、低所得者が多く、国保税の増税はその生活を脅かします。国民健康保険特別会計の累積赤字が膨らんでいる中、市の一般会計であれば、市長会を動かして、国庫支出を増額してもらおうという国に抗議すべきだと思いますがいかがですか。

市長—国保財政につきましては、どの自治体も大変苦慮しています。国の補助率が40%から、32%になったということも国保財政が厳しくなった大きな一因だと捉えています。少子・高齢化等により医療費全体が伸びていく中、その医療費を抑えながら、議員が言われたことを絡めながら、今後検討していくことが起り得ると思っています。いづれにしても、国保財政の安定化に向けてはさらなる努

力が必要だと感じています。

どうなっている いじめ・不登校・体罰



山田 忠議員
(清和会)

少子化が進む中、教育ニーズの多様化など今までの常識、制度や手法、やり方では問題に対処できない実態があるように思いますが、①学校教育に対する教育長の姿勢について。②いじめ、不登校に対する基本的な対応について。③部活動での体罰について、市の現状をお尋ねします。

教育長—①学校支援ボランティア制度やコミュニティ・スクール等を活用し、保護者や地域の方々に学校運営に参加していただくとともに、「小郡の子ども教育10の実践」の取り組みを一層推進していきたいです。②平成24年度のいじめ認知件数は小学校7件、中学校7件で、早期発見、早期対応に努めています。不登校は、小学校12名、中学校38名で、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置

や適応指導教室で対応を進めています。③実態把握のためにアンケート調査を行っており、現在集約中ですが、調査結果の一つ一つが体罰に当たるかどうか委員会で精査しています。

市職員配置は適正か

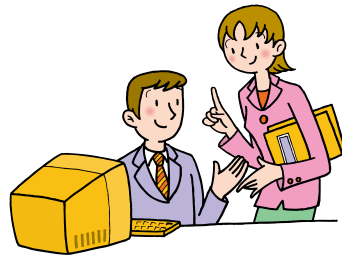


廣瀬勝栄議員
(市民クラブ)

2012年11月の完全失業率は4.1%で完全失業者は260万人となっており、生活保護受給者は240万人を超え、過去最多を更新するなど勤労者の生活の困窮と格差が一層広がっています。①労働者の雇用情勢について。②市では正規職員の数より非正規職員の数が多かったり、偏った部署で残業が多いと聞いていますが職員の適切な人員配置がなされているのかお尋ねします。

市長—①福岡県の有効求人倍率は1月末現在0.72倍と依然厳しい状況ではあるものの徐々に回復傾向がみられます。②マニユフェスト及び行

政改革行動計画に基づき人員削減を行っており、どの職場も余裕がない状況であると認識しています。限られた人員、人材を活用し、適正配置に努めており、職場が一体となったチームとして業務に当たり、嘱託職員等の効果的な活用をはかりながら職務遂行に挑戦してもらいたいと考えています。



小郡市議会会議録の 閲覧ができます。

小郡市のホームページから、平成18年5月以降の市議会会議録が閲覧できます。

なお、平成25年3月の市議会会議録は、平成25年5月下旬頃より閲覧できる予定です。

予算審査特別 委員会報告

3月定例会では、予算審査のため全議員(18名)で構成する予算審査特別委員会を設置し、市長より提案されました平成25年度歳入歳出予算案8件(一般会計1件、特別会計7件)を、3月1、4、5、6、14日の5日間で慎重に審査を行いました。

なお、今回は5月が市長の任期満了となるため、新規事業や政策的な経費を極力抑えた義務的な経費を中心とした予算編成になっています。

一般会計予算は、166億7,900万円で、前年度比3.6%の減となっています。

特別会計予算は、合計129億3,179万7千円で、前年度比5.7%の増となっています。

(予算の概要及び主な事業は「広報おごおり」4月号に掲載。ホームページでもご覧いただけます。)

今回の予算審査については、予算審査特別委員会より、2つの意見を意見書として市長へ提出しました。

(意見書の詳細については2ページをご覧ください。)

